

つきいち こ
月一っ子のみなさんへ

みなさん、こんにちは。

もうすぐ、6月。一週間後には、みなさんに会うことができるんだと思うと、
待ち遠しくてなりません。6月1日がとっても楽しみです。

6月1日と言えば、「衣替え」ですね。日本には、春・夏・秋・冬の四季があり、夏と冬では、気温が大きく異なっています。夏は暑くて、冬は寒いです。ですから、夏と冬では、着る物がまったく違ってきます。このように季節によって着る物や身に付ける物を替えることを「衣替え」と言います。昔から6月1日は、着る物を冬物から夏物に替える衣替えの日とされています。その逆の夏物から冬物に替えるのは、10月1日の衣替えです。

この衣替えの習慣は平安時代(今から1000年以上も昔)の天皇家や貴族の行事から始まったと言われています。最初は、中国の風習にならって夏服と冬服を着替えたそうで、その後、季節による取り替えを衣服以外でもするようになり、扇などの持ち物や床の間にかける絵画、ふすまなどの調度品まで夏物と冬物ができ、衣替えが行われるようになったそうです。

冷暖房が発達している今の時代では、1年に2回の衣替えの必要性も低いかもしれませんね。でも、四季のある日本だからこそ、続いてきた習慣だとするのなら、一年中暑かったり寒かったりする国にはない贅沢な習慣とも言えそうです。